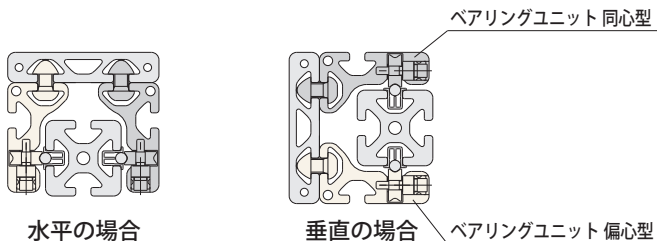


ベアリングユニット6の組付け

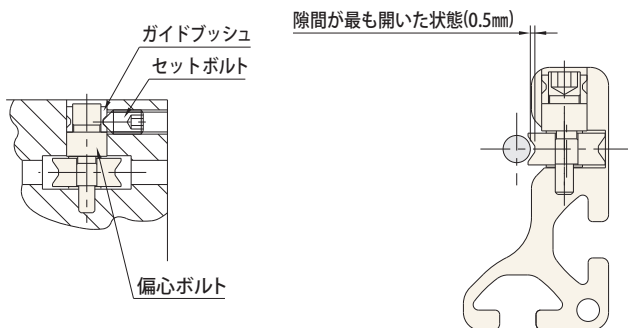
組付けに関する留意点

ベアリングユニット組付けが垂直方向の場合は、通常上側は同心型、下側は偏心型にしてください。
(水平方向の場合は、左右どちらでも構いません。)

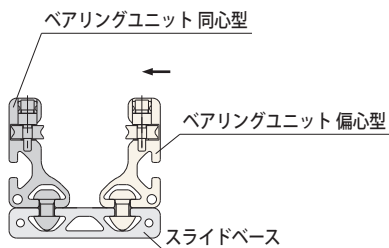


組付け手順

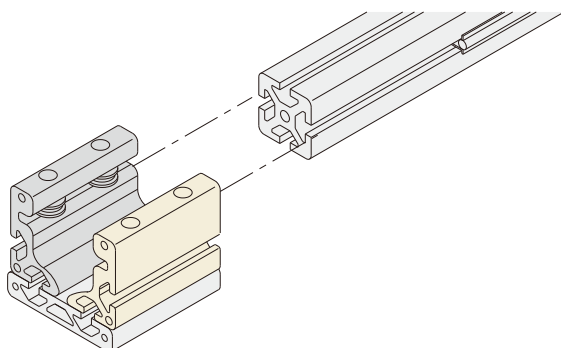
- 1 ベアリングユニット偏心型のローラーの調整をします。セットボルトを緩め、ローラーの動きを観ながら偏心ボルトが反時計方向へ一回転する間でローラーとシャフトの隙間が最も開いた状態(0.5mm)にします。そして偏心ボルトの位置がずれないようにレンチで固定しながらセットボルトをねじ込んで偏心ボルトを仮締めします。



- 2 1の状態にしたベアリングユニット偏心型は、スライドベースの内側へ寄せて接続します。



- 3 スライドベース部は、レール部にスライドさせます。



- 4 接続後、セットボルトを緩め、偏心ボルトを反時計方向へ回し、ローラーがシャフトを軽く押す状態にします。そして偏心ボルトの位置がずれないようにレンチで固定しながら再びセットボルトを仮締めします。スライドベース部の動きを観ます。スライドベース部の動きが重い場合は時計方向へ、スライドベース部とレール部にガタつきがある場合は反時計方向へ偏心ボルトを微量調整してください。調整後、偏心ボルトの位置がずれないようにレンチで固定しながらセットボルトを本締め（締付けトルク $3\text{N}\cdot\text{m}$ ）してください。

